

ICON

#4

「『シャネル』のバッグとシューズはなぜ、飽きられないのか？」

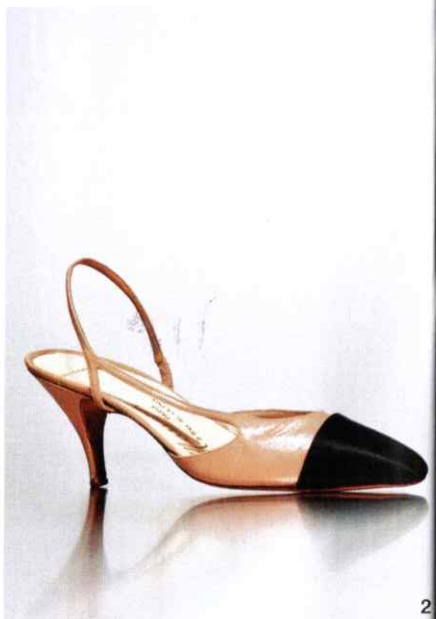
文=中野香織(服飾史家)

“2.55”バッグのフラップ、ミシンによるステッチ、そして回転式留め具は、活動する女性の实用に徹して生まれたデザインである。ベージュ色により脚を長く見せる効果がある一方、つま先の黒で汚れや傷を目立たせない配慮がほどこされたバイカラーシューズも、自分の足で歩く女性の快適さを守るためのデザインである。ともに発売時には、時代と波長を合わせて生きたい女性の欲求を満たす画期的なデザインだった。ガブリエル・シャネルは女性の自由を何よりも大切にしたい。自由を享受するからこそ、厳格な規範をファッションに課したのだ。チェーンショルダータイプの“2.55”バッグやバイカラーシューズには、考え抜かれたストイックなコンセプトがある。だから



1

こそ、本質的な価値を守ったまま無限のバリエーションを「新作」として展開することが可能になる。常に新しさが求められるファッションの世界で永遠に飽きられないための秘密もまた、このアイコンたちから学ぶことができる。



2

1 両手が自由になるショルダータイプの“2.55”バッグは、女性たちをより活動的に見せる。実用性とエレガンスを兼ね備えたバッグの完成度の高さに驚かされる。2 脚を美しく見せるバイカラーシューズの原型も展示される。軽快で上品、着脱しやすい、いまなお支持される靴。

●1. ガブリエル・シャネル “2.55”バッグ 1955-1971年 羊革のキルティングメタル、回転式の留め具 パリ、パトリモアンヌ・シャネル ©Julien T.Hamon
シャネルのクリエイション、マサロ製作 バイカラーシューズの原型 1960-1970年頃 子山羊革、緞サテン パリ、パトリモアンヌ・シャネル ©Julien T.Hamon